



2024年6月22日（土）総勢37名で今年度初回の生物野外観察をおたる水族館にて実施いたしました。この企画は新規開拓ということで、全くゼロからのものであり、また水族館にとっても初の試みということではあったのですが、関係各所のご理解とご協力のもと予定していたプログラム全て無事に実施することができました。ありがとうございました。以下、当日のプログラム、事前学習内容を提示しておきます。ご意見、ご質問等ございましたらSSH・生物担当 今野までお願いいたします。

○タイムスケジュール

9:20 小樽駅集合

9:35 バス乗車（10:05着）

10:30 獣医師、飼育員によるレクチャー

事前学習検証、考察、プレゼン準備

12:00 昼休憩

12:40 水槽前で一般客へのショートプレゼン

13:40 リフレクション、まとめ

14:30 参加者全員でイルカショー見学

15:10 バス乗車

15:40 小樽駅解散



○事前学習内容○ ※おたる水族館より提示していただきました

- ①ニシンは小樽の繁栄に深く関わっていますが、いつどのように関わっていたのか。また現在の状況は？
- ②チョウザメは一般的なサメとどこが違うのか。また何故「チョウ」ザメという名前なのか。どこに生息していてどのような生態なのか？
- ③北海道の希少生物。北海道に限らず、主に陸上の水域（川や池、湖など）の多くの生物が絶滅の危機に瀕していますが、その主な原因は？また、複雑に絡んで影響する自然環境保護と人間生活の快適化の両立の難しさについて
- ④北海道周辺を含む世界中の広い海域に生息するネズミイルカの生態と漁業との関係
- ⑤北海道周辺で観察されるアザラシの仲間合計5種。
それぞれの見た目の違いと生態について
- ⑥トドと漁業の関係。
漁業者からの視点では「害獣」でしかないが、共存の道はないのか！

